

# 里山保全を世界に

## 各国の職員、県内で研修

アジアやアフリカ、中南米の十三カ国の自治体職員らが県内で里山里海の保全活動を学ぶ研修が十七日、始まった。二週間余りの研修を通じて、自国の生



谷本知事と懇談する研修員＝県庁で

物多様性の保全と住民の生活を両立させる行動計画を練り上げる。研修員十四人のうち十三人が同日、谷本正憲知事にあいさつする

ウイで森林の復旧と村落の振興に携わるピーター・モヨ・ヘルマン・ムクワパティンさんは「自然保護と地域振興を両立させた実践例を学びたい」と意気込みを述べた。

研修は、国際協力機構(JICA)北陸と自然環境研究センターが主催。十二月二日まで、県の施設や大学で講義を受けたり、NPO法人や民間企業を視察したりして、帰国後の行動計画を作り、発表する。(山本真士)

石川で「里山里海研修」  
13カ国の職員意欲  
JICA事業で知事表敬

JICA(国際協力機構)の研修事業で16日に県入りした発展途上国13カ国の行政職員や研究員が17日、県庁に谷本正憲知事を訪ね、石川の里山里海の保全活動を学ぶ意欲を示した。

研修事業は初めて「生物多様性保全と地域振興」をテーマに開かれ、アジア、中南米、アフリカから14人が参加。来月4日まで輪島市と珠洲市で製炭や製塩の作業を視察し、七尾湾では地引き網体験を行う。県の環境保全施策のほか、環境教育の人材養成を進める金大の試みにも理解を深める。

研修員を代表してマラウイのピーター・モヨ・ヘルマン・ムクワパティンさんが「石川の里山を参考に、生物多様性維持と地域振興の両立を目指す行動計画を策定したい」と意気込みを話した。

**独建築家と知事  
環境テーマ懇談**  
エコハウス普及のため  
のセミナー講師として  
県内を訪れているド  
イツ人建築家カール・  
ペーター・メーレさん  
が十七日、県庁で谷本  
正憲知事と懇談した。  
メーレさんは、ドイ  
ツ・フライブルク市が  
環境問題を考えるモ  
デル施設として設置し  
た「エコステーション」  
の設計者。十六日



谷本知事と懇談するメーレさん(左)と夫人のエルヴィラさん(右)＝県庁で

に県庁であったセミナー  
で講師を務め、現地  
での取り組みを紹介し  
た。  
夫人のエルヴィラさ  
ん同伴で知事を訪ねた  
メーレさんは、四月に  
完成した県の「いしか  
わエコハウ  
ス」につい  
て、「うまく  
資材と形状の  
性質を生かし  
ている。環境  
への配慮が誰  
にも分かりや  
すく、感銘を  
受けた」と評  
価していた。  
(本安幸則)

**秒針**

**「訪独話」で終わらず**

◇「パーフェクトな建  
築物だ。(環境先進国の)ド  
イツも油断ならない」。谷本  
知事を訪問したメーレ氏  
は、県が4月に設けた「いし  
かわエコハウス」を、最新の  
省エネ設備と技術が凝縮さ  
れていると大絶賛。メーレ  
氏のリップサービスに気を  
よくした知事は、「老朽化が  
激しい知事公舎のエコ化  
は無理だけどなあ」

など、冗談を飛ばしながら、満悦の様子だった。  
◇30分以上に及んだ  
懇談。写真には例のように  
知事の独壇場で、話題はい  
つしか知事の「訪独話」に  
移った。フライブルク市の  
小学校で縄跳びをしたこと

も忘れず。  
や、ノルディックウォーキ  
ングに挑戦したことを身が  
り手ぶりで紹介。もっとも  
思い出さただけで終わるはず  
はなく、金沢城の復元整備  
や、兼六園がミシュランの  
日本版観光地ガイド本で  
「三つ星」に選ばれたこと  
などを説明し、「ドイツで  
石川の魅力を伝えてほし  
い」と観光誘客へのPR



## 22日・サンフランシスコ 日本祭いしかわ

女性だけの和太鼓グループ「藍」は、伝統のリズムを取り入れた創作太鼓が特長。藍の久保明美代表は「あの時の喝采が忘れられない」というドイツ公演の再現を誓う。

サンフランシスコは、ワイン樽を使った太鼓が作られているなど、米国内でも太鼓演奏が盛んな地域として知られる。プレッシャーがないわけではないが、久保代表は「喜んでもらえる演奏をするだけ」と自信をのぞかせる。

新調した白い衣装には「太鼓を通して両国が近くなってほしい」（久保代表）との願いを込め、日米両国の國

### 女性和太鼓グループ「藍」 トリへ自信「喜ばせたい」



「ドイツ日本祭いしかわ2008」で、息の合った演奏を披露する女性和太鼓グループ「藍」＝2008年11月、ドイツ・ライプチヒ

# 独人公演の興奮 感動を米でも

財団法人芸術文化協会が22日に米サンフランシスコで開催する「日本祭いしかわ2010」で、社団法人和太鼓連盟に所属する「藍」がトリを務める。藍は2年前に芸文協がドイツ・ライプチヒで開いた日本祭でも公演のフ

イナールでスタンディングオベーションを浴びており、サンフランシスコにも興奮と感動を届けよう。

旗をあしらった。

結成15年目

今年、結成から15年目を迎えた。これまで支えてくれた周囲への感謝を胸に、力強さに女性ならではの艶を加えた演奏で、日本祭を締めくくる。

# 味のくろおふの中国

白山市国際交流協会主催の「世界の料理と文化を学ぼうー中国料理教室」が、市健康センター松任であり、参加者二十人が中国料理調理法を楽しく学んだ。

市内に住む中国出身の主婦房障さんを講師に招き、中国の家庭料理三品、房さんを招き白山で料理教室

に挑戦。房さんが四人一組、五つのテーブルを回りながら指導した。参加者は、房さんに「こうなどを聞きながら手際よく調理した。同市千代野の主婦山本恵理さん(38)は「スープに酢やごま油を入れるなど慣れなかったが、食べたらすごく体が温まった。家でも挑戦し



房障さん(左から二人目)の指導で、中国料理を学ぶ参加者たち。

たい」と話していた。教室は、料理を通して世界各国の文化を学ぶとともに、市内在住の外国人に日本に慣れ親しんでもらうことを目的に毎年開催。昨年はフィリピンとブラジル料理を実習した。

(高橋貴仁)

マレーシアなどの留学生が母国紹介

石川高専

石川高専の「国際的視野を持つ環境共生型人材育成講演会」2年生会合同特活留学生講演会」は17日、津幡町の同校で開かれ、2年生216人が4カ国の留学生5人の母国紹介に聞き入った。

講演会は、今年度高専改革推進経費採択事業の一環として開かれた。マレーシアのモハ・マド・ハフィズ・ビン・シャリフ君(6年)らイラン、モンゴル、ウガンダの留学生が自国の言語や文化、生活習慣などを説明した。

22.11.18  
北中(朝・夕)  
国際交流課

外国で日本語教育  
故人の活動を紹介

寺井図書館

ウズベキスタンの子

どもたちへの日本語教  
育に尽くした故大崎重

勝さん(享年68)の  
活動を紹介します「NO

RIKO学級展」が十  
七日、熊本市寺井図書

館で始まった。二十一  
日まで。入場無料。

「コマツの旧小松工場  
に勤務し、仕事を通し

てウズベキスタンと交  
流があった大崎さんは

一九九九年、退職金と  
貯金を費やしてウズベ  
キスタン・リシタン市  
内に妻紀子さんの名を  
取った日本語学級「N  
ORIKO学級」を開  
設した。これまでに延  
べ二百人以上の日本人  
がボランティア講師と  
なり、現地の小中学生  
に日本語や日本文化を  
教えてきた。

今回の展覧は、現地  
に日本人ボランティア  
を紹介する「RJC  
(リシタン・ジャパン  
・センター) 北陸支  
部」が主催。活動を紹  
介するパネルや現地の  
民族衣装や陶芸品など  
約七十点を展示してい  
る。

RJC北陸支部の福  
益米作さんは「多くの  
人に大崎さんの功績を  
知ってもらい、ボラン  
ティアにもチャレンジ  
してもらいたい」と話  
している。問い合わせ  
は、福益さん(電08  
0(6352)114  
4)へ。(布施(合航))

22.11.18  
北国(朝・夕)  
国際交流課

大連の教師研修団  
小中学校を見学

中国・大連市教育局

から派遣されている日  
本語教師研修団の5人  
は17日、曙江町小と額  
中を訪れ、国語や社会  
などの授業や校内見学  
を通して日本の教育方  
法や金沢の文化に触れ  
た。

NPO法人日本海  
際交流センターが実施  
する日本語教師研修の  
一環として訪れた。額  
中では、一行が生徒全  
員で順番に古語を読み  
解く授業や、加賀友禅  
に関するグループ発表  
などに見入った。曙江  
町小でも授業を見学し  
たほか、児童と給食を  
楽しんだ。

# 千枚田、見附島に感動

## フランス人夫婦 自転車車で世界旅行

世界中を自転車で行っているフランス人のフレブル・ブルノさん(妻)と妻イザベに泊まり、十七日は七



自転車で世界中を旅しているフレブルさん夫婦。穴水町川島で。

世界中を観光した。尾市内を観光した。「多くの人と触れ合いたい」と話す二人が今までに訪れた国は三十九カ国。今後は長野、東京などを回り、台湾やアメリカ大陸も訪れるという。

フレブルさん夫婦は、パリで小さな印刷業を営んでいる。もともと旅行が大好きだったが、「もっとその土地の文化や風土を存分に味わいたい」と自転車での旅を決意。子育てが一段落し、体力もある今が最後のチャンスと、一時仕事を休んで二〇〇六年四月に出発した。現在、走行距離は地球一周分を越える約五万二千キロにもなった。それで

も、また今後八年以上は旅を続けるという。二人は大陸間の移動に必要な飛行機や船の運賃以外、ほとんどお金を使わない。宿泊は教会にお願したり、現地で知り合った人の家やその人に知人を紹介してもらつなどしている。

(宮畑 謙)

コマツ坂根会長

# 本社移転、港湾整備が鍵

## 産機再編で富山の生産向上

都内のセミナーで講演

コマツの坂根正弘会長は17日、都内で開かれた富山県の「こまやま企業立地セミナー」で講演し、「金沢、富山の港からもっと物が出れば、もう一度、北陸に帰ってもいい」と述べ、港湾の整備促進が本社機能の石川移転のポイントになるとの認識を示した。16日に発表された産業機械事業の再編に

ついては、今後、富山での生産比率が高まる」と指摘した。坂根会長は「これは「ラッシュの時代」として、(本社を)北陸から移したのは輸出に不利だったからだ。輸出さえできれば帰ると説明した。

さらに、東京一極集中が地方への投資機会の減少、経済停滞につながっているとして、



「さるだけ生活費の安い地方に人を移さなければならぬ」と強調した。法人減税の必要性も訴えた。

コマツの今年度の国内生産比率については、富山が23%、石川が20%になる見通しと述べた。その上で、坂根会長は産機事業の再編で「このほか、坂根会長は政府の政策に対する持論を展開。政府が参

加を検討している環太平洋連携協定(TPP)について「おかしな議論」と断じ、「2030年には中国やインドで人口が増え、食料危機が来る。農業はすごい成長産業になる」との見方を示した。また、松井秀賢選手

の移籍先候補としてホワイトソックスが挙げられていることには「本拠地のシカゴにコマツアメリカの本社があるので、ありがたい」と話した。



「この軟らかい金属 ち上げると、おしゃれは何だー」。今年一月 なかごに愛身。小物なのパリ。ここで開催さ とを入れるには格好の品となる。

テリア国際見本市「メ ソン・エ・オブジェ」で、そんな声が飛び交 った。富山県高岡市に ある鋳物メーカー「能 作」の作品にうなった 長嶋の能作克治さんは、 まった目利きの買い付 けた人だった。

その秘密は、素材の スズにあった。展示さ れた「KAGO」は代 表作の一つ。網状の四 角い板の角を持ち上げ ると、簡単に曲がって 延びる。しかもちぎれ ない。すべての角を持

**スズ** 抗菌作用が 強く、酸化し にくい特徴が ある。その一 方で人肌に触れてもア レルギーになりにくい

スズで自在な形の器  
鋳物メーカー「能作」社長 能作克治さん



自由に形を曲げられ、かごなどにできる「KAGO-スクエア」を手にする 能作克治さん＝富山県高岡市の能作で

柔軟発想で道開く

有の硬さを持たせる。 もないが、人気があ にうちの作品を見て も手の力で曲がる軟らか さを短所と考えてきた からだ。が、テサイナ ーが「軟らかい特徴 推してくれた。逆転 の発想で、スズ100 %を採用となった。

十一月月上旬には、中 国・上海で開かれた展 示会にも出品した。中 国だけでなく世界に 在る。そこから、形が自 在になるインテリア雑 貨、使っているうちに 手の形になじむビール グラス、べい飲みが誕 生してきた。そう安く

だが、近年は外国産 の安価な製品に押され て、売り上げは低迷。 既存の商品からの脱却 が求められていた。 「金属で、生活にも つと身近な物を作れな いか」と、社員から提

われてきた。純度が1 00%の場合、手の力 で簡単に曲がり、スズ の分子同士がすれあう と、ヒキヒキといっ独 特の音を発する。

文・奥村善吉  
写真・川上智世

【ローマ＝共同】国連食糧農業機関（FAO）は十七日、十月の世界における主要食料価格の指数が前年同月比で25%上昇、食料危機が叫ばれ最高値を記録した二〇〇八年六月の水準に迫ったと発表した。ロシアの干ばつと穀物禁輸による小麦価格の上昇や、新興国の

## 世界食料価格 最高値に迫る

FAO調査

10月の指数 25%上昇

需要増を受けた砂糖価格の高騰などが原因。同指数は四カ月連続で上昇。二〇一〇四年の平均を二〇〇とした場合、FAOは悪天候で小麦やトウモロコシなど世界の穀物生産量が減り、在庫の急減で一層の価格高騰の懸念もあると指摘。途上国などで暴動を招いた食料危機再来を防ぐためにも、生産国に生産力増強を図るよう訴えた。

FAOは悪天候で小麦均を二〇〇とした場合、十月は一九七・二に達し、〇八年六月のピーク（二三・五）をわずか7%下回る水準だった。最貧国では今年、食料輸入価格も11%上昇すると予測され、途上国経済を直撃する可能性がある。



# 政治主導 英国に学べ



国の借金が約九百八兆円に達し、給与カットは国家公務員も例外ではないはずだ。今年、財政危機に陥ったギリシャは、財政再建策で公務員給与の大削減を実施。スペインも財政緊縮法案を可決し、公務員給与を平均で5%削減する。

そして、緊急性や効果がいまいちな国の事業の再仕分けでも、政務三役が官僚側に立って反対姿勢を見せる。こんな状態で人件費二割削減はできるのだろうか。

「全く危機感がなく」と報酬の甘さを指摘する

5月6日夕、アテネのギリシャ国会前で、財政危機を受けた政府の追加緊縮策に抗議する労組集会参加者＝共同

のは、社団法人「隣接共済総合研究所」の古金義洋・主席研究員だ。

古金氏が比較して注目するのは、キヤメロン英政府の財政再建策だ。年金給付抑制や社会保障費の支出減などで、来年からの四年間で総額八千億(約十兆円)の歳入を削減する。公務員も約8%に当たる四十九万人を減らし、各省の予算も平均二割近く削減する計画。国内総生産(GDP)比で11%の財政赤字を、一五年には1%程度にするという。

日本の財政赤字はGDP比で9.8%だが、債権は。官僚トップの事務職減で見れば英国より切迫感がある。英国では済み済みで、機関の地方移管による定入れている。これは一九七六年のポンド危機で、高額の退職金も下げる(国際通貨基金(IMF)の管理下に置かれた昔の経験が背景にあるため)が、首相は英国から政治主導を学んだと自覚してきたが、どうか。

当時、公務員給与の抑制策に抵抗した労働組合も、首相は英国から政治主導を学んだと自覚してきたが、どうか。

古金氏は「日本も財政支出に占める割合が大きい公務員の人件費を削減しない限り、財政再建はできない」と警告する。野党は「三年間でも」と国民に生かすことを辞さない覚悟を求めた。

旧労働者の元官僚で、日本の国家公務員は約六十四万人いる。では人件費二割削減の具体策と問題点を挙げてきた時、西村健氏は「私の時」

10日、北京で中国の胡錦濤国家主席と面会するキヤメロン英首相＝ロイター・共同



## 民主党政権「出血の覚悟ない」

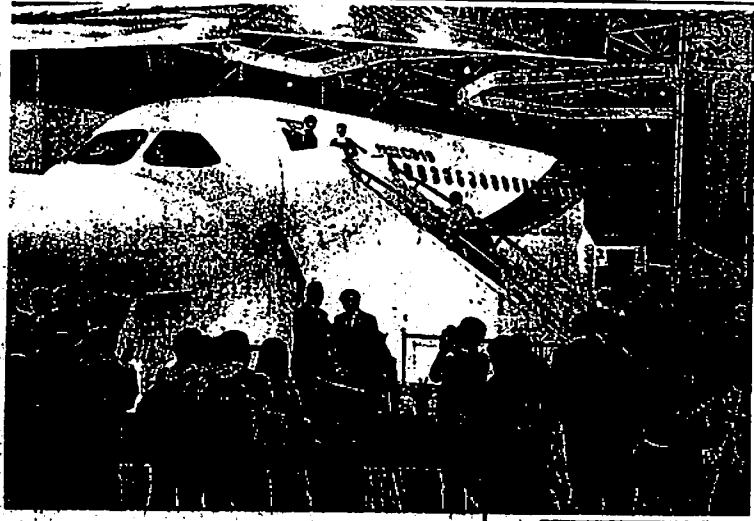
無敵な事業の継続や天下り先の確保など、いまだに官僚に危機感がないのはなぜか。借金依存の危機的な財政が人ごみのなかで、「省益を離れて国民に」を教すには、自分たちの身を切って国民に危機感を共有する必要がある。政治家も同じ。日本は再び「英国病の教訓」に学ぶ必要がある。(四)

りは二十万日足らず。あまり仕事をしない上司が高給取りをもちろんだ。三十代の労働者に手厚く配分した厚給のいのは」と懸念する。

さらに政権の天下り根絶が半端なことにも恐れ「天下り団体研究所が仕事を発注して予算を注ぎ、結果的に公務員OBの高給取りを維持する」といっている。

一方、議員議員の報酬削減に対して民主党内では、反対論が噴出。自ら身を切る案も打ち出されている。西村健氏も「身を切る」

「民主党政権は自分で血を流す覚悟もない。今の状況で人件費に手を突っ込みは官僚に手を向かせる。人件費削減も結局は、言葉だけで本気とは聞えない」



16日、中国広東省珠海市の航空ショーで、  
国産中型旅客機「C919」の原寸大モデル機を  
見学する来場者ら。AFP・時事

## 中国初の中型旅客機

【北京＝安藤淳】中国南

部の広東省珠海市で開かれていた国際航空ショーで、中国初の中短距離型国産中型旅客機「C919」の原寸大モデル機が披露され、

中国の航空会社や米の航空機リース会社など六社が計百機を購入する覚書を取り

十七日付の中国各紙が伝

えた。二〇〇七年に開発計画を

発表して以来、中国が航空

分野での自主開発能力を高

めていることをアピールす

る狙いがある。

同機は国営航空機メーカー

「中国商用飛行機」が開

発。百五十一人乗り

で、全長三十八メートル、全高十

二メートル、一四年に初飛行し、

### 自主開発能力、外国にPR

一六年から航空会社への引き渡しを始める計画。独自の技術で機体を軽量化、他社の同型機に比べ12〜15%も燃費を向上させ、予定価格は五千万ドル(約四十億円)と安価だ。

経済成長が続く中国では、二九年までに四千七百機の旅客機需要が見込まれる。ただ、新興メーカーへの安全・信頼性の懸念から、外国市場への売り込みは未知数だ。